

ごあいさつ

本校では、「未来を拓く子どもの育成」の研究主題のもと、平成29年度よりプログラミング教育の理論的・実践的な研究を進めてきました。これは、新たな学習指導要領の考え方を示した中央教育審議会の答申（「審議のまとめ」平成28年12月21日）において、主体的・対話的で深い学びやカリキュラムマネジメント等の新しい教育の方向が示されるとともに、「プログラミング教育」の実施を含めた情報活用能力の育成が提言されたことをふまえてのことでした。

本校のプログラミング教育研究は、次のように進めてきました。

- 平成29年度：プログラミング教育の基本的な考え方の理解
- 平成30年度：A分類（5年算数，6年理科），B分類（5年家庭科）実践
- 令和元年度：A分類（5年算数，6年理科），B分類（1～4学年）実践，
D，E分類実践

研究3年次となった令和元年度は、本校プログラミング教育を通して育成を目指す資質・能力の3つの柱と評価規準を整理し、これまで実践した内容との関連や各団体等との連携を示した全体計画を策定しました。今後は各教科等のねらいの達成とプログラミング的思考の育成とを一層充実させた学習指導のあり方や教育課程の編成を進めていきたいと考えています。

本冊子「プログラミング教育実践事例集」は、これまでのわれわれの成果をまとめるとともに、プログラミング教育の具体的な実践のための基盤となるものです。

本冊子をご覧いただき、ぜひとも忌憚のないご批判，ご批正をいただければ幸いです。そして、令和2年度から各学校で本格的に実施されるプログラミング教育が、子どもたちにとって楽しく、生き生きと学べるようになるための参考にしていただけることを願っております。